

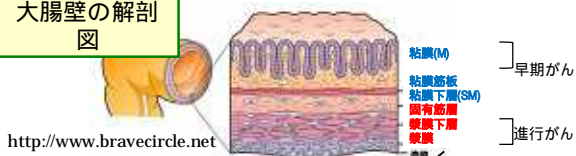
大腸がんの話

橘医院
橘 良哉

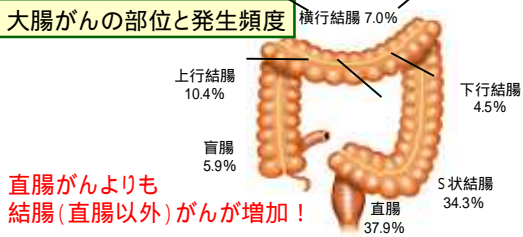
大腸がんとは

- 大腸がんは、結腸がんと直腸がんのことを言いますが、どちらも腸の粘膜（大腸の一番内側の壁に相当するところ）から発生する悪性の腫瘍です。
- がんが発生し始めの頃は、ほとんどが小さいポリープ状の形（腸の中にできる隆起したもの）をしていますが、だんだん進行していくと粘膜にとどまっていた“がん”が内壁から漿膜（腸の一番外側の壁）へ、そして周囲の臓器（小腸、胃、膀胱など）へと浸潤（水が砂にしみこむような広がり方をすること）し、広がって行きます。

大腸壁の解剖図

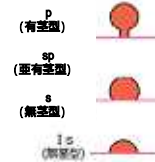


大腸がんの部位と発生頻度

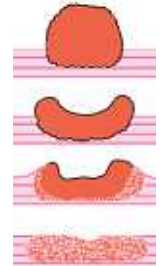


大腸がんの形

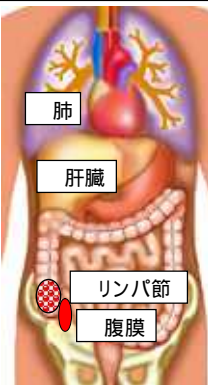
早期がん



進行がん

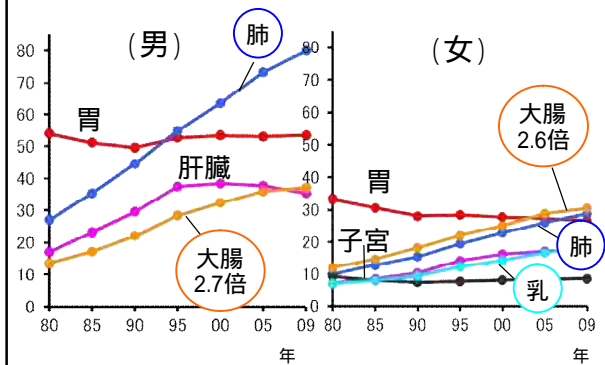


大腸がんの転移



リンパ行性にリンパ節に転移する
浸潤性に腹膜に転移する
血行性に肝臓、肺に転移する

全国における部位別がん死亡率の推移(人口10万対)

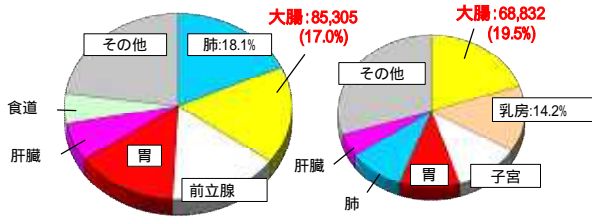


2020年のがん罹患に関する推計

大腸がんは日本人が最も多く罹患するがんになる!

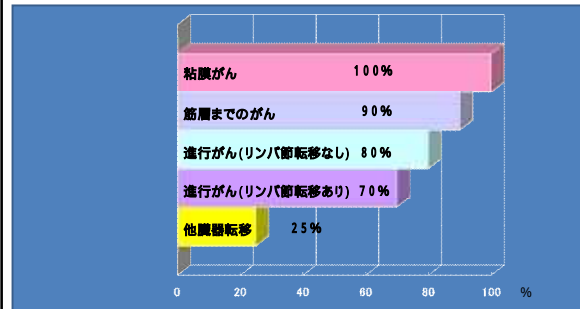
男性: 500,723人

女性: 353,244人



大野ゆう子, 中村 隆, 他: 日本のがん罹患の将来推計
大島 明他(編) がん統計白書2004, 篠原出版, 東京, 2004

大腸がんの治る確率



重要 大腸がんは治る可能性が高いがん!
特に早い段階で見つかるほど治りやすい

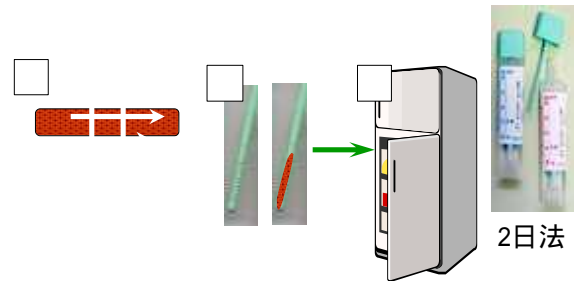
そこで、大腸がん検診!!



便潜血検査... 便に血液が混じっているかをみる

正しい便の採り方

便の表面をまんべんなく擦って採る
採便棒の溝が埋まる位(採り過ぎない)
採ったらすぐに冷蔵庫に保存



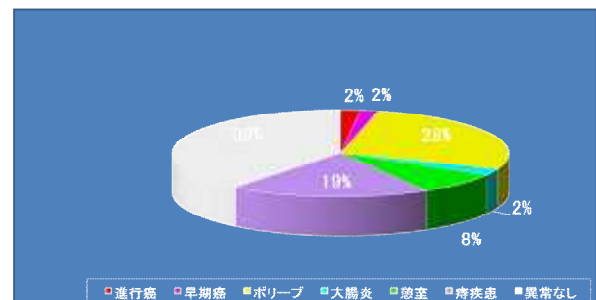
2日法

便の検査で陽性になった時の精密検査が...

大腸内視鏡検査



便潜血陽性者の精密検査結果



結果的に「がん」が見つかるのは4%

大腸がん検診とは

大腸がん検診は便潜血検査 内視鏡検査
組み合わせで行なう

便潜血検査は精密検査である内視鏡検査が
必要な人を選び出す検査である

なぜ検診をすべきなのか？

大腸がん検診で見つかる癌の半分以上が早期癌

- 非常に治る可能性の高い癌が見つかる
(有効性が確認されている！)
- 内視鏡治療、腹腔鏡治療など、
身体にやさしい治療が可能

大腸がん検診のまとめ

- 便潜血検査は楽な検査ですが、陰性になることがあるので
毎年受けることが大切です。
- 大腸がんを見つける検査は内視鏡検査であり便潜血検査
ではありません。
- 大腸内視鏡検査も小さながんやポリープは見逃しがあるた
め、やはり便潜血検査を毎年受ける事が大事です。

大腸がん予防のポイント

禁煙

節酒

運動，糖尿病には要注意



40歳(50歳)になったら毎年大腸がん検診！